

平成22年5月7日 発行：猪の瀬戸湿原保全の会 事務局

### 湿原の サクラソウを守ろう!!

猪の瀬戸湿原には、ヨシ、ツルヨシ、オギなどの湿地に特有な植物が生育しています。また、春の初めには鮮やかなピンク色のサクラソウが咲き乱れます。



昨年、県道沿いのサクラソウが車中からも目につくという声を耳にし、保護対策が話題になっていました。そこで、セントレジャー城島の了解を得て4月18日にサクラソウ生育地内立ち入り禁止のロープ張り作業を行いました。

杭は井上隆喜会員の厚意で、2mのマダケ100本をいただき、7～8m間隔で打ち込み虎ロープを張って、立ち入り禁止の札を下げました。

当日は、池田滝子、伊東博光、井上千鳥、井上理、小田毅、後藤利雄、首藤宏史、後藤勝彦、工藤剛、児玉清一郎、熊瀬良治、生野喜和人、定松亨、堤賢二、波多野英哲、渡辺新十郎、渡辺忠義、渡辺政治、宮野茂樹、南次郎の20名の参加でした。

ロープ張りは山岳経験の豊富な後藤利雄さんの巧みな結び方の手ほどきを受けながら、手際よく作業を進め、午前中で道の両側の生育地を囲い込みました。

午後は、道路周辺に投げ捨てられたジュースの缶やポリ容器を拾い集め、美化活動を行い、併せて、ヒメユリの生育が期待されている、上部のネザサ草地を草刈り機を使って刈り込み、開花に期待を寄せて解散しました。

立ち入り禁止ロープの効果については、侵入者の目撃情報やその痕跡もなく有効であったと思われます。



ロープ囲いの作業



立ち入り禁止の標識付け